

シルバーリーフの由来の木

ページ制作：盛岡第四高校HP制作委員

みなさんは四高の校章のモチーフになっているシルバーリーフのギンドロの樹について、どれ位ご存知ですか？

元々は、ヨーロッパ～中央アジア原産の木で、ドロノキの仲間です。明治中期に日本に渡来し、幹や葉の裏が白く美しいため、公園や街路樹として、植えられています。葉の裏が白く見えるのは、たくさんの白い毛があるためです。風に翻ると銀色に輝き、その名がついたそうです。



四高にあるギンドロの樹。

100mトラックのクッション側に生えています。



葉っぱの様子 左が表で、右が裏の様子です。

ハコヤナギ属に入るため、別名ウラジロハコヤナギと言います。乾燥に強く、海岸の砂丘や河原などにも育ち、風で吹き折られても、伐られても、また芽を出し、枝を伸ばす強靱さを持っています。また幹にはダイヤモンドの形の模様ができるそうです（みなさん知っていましたか？ 今度実際に見てみたいです）。

さらに、ギンドロは宮澤賢治が大好きだった樹として有名です。現在、花巻市文化会館の正面向かいには、『ぎんどろ公園』があります。この場所は、宮澤賢治が教壇に立った元花巻農学校の跡地です。公園内にはギンドロの樹が植えられており、ひとときわ気高くそびえ立ち、花巻市文化会館のシンボルとなっています。

もちろん我が四高にもギンドロの樹がそびえ立っています。是非その美しさと強靱さにあやかり（受験を乗り越え）たいものです。四高のギンドロの樹の下がパワースポットとなり、私たちに力を与えてくれるかもしれません（?）。